

破天荒

教宣部

5093 号

2020 年
11 月 5 日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

昨日の冬季一時金回答指定日団交でした。新型コロナウイルスの影響で売上が伸びず昨年同期マインス二二・七六%。厳しい状況で二・五四ヶ月の回答がありました。

電子の状況

対象期間は何とか黒字は確保したものの、月単位では3度赤字になった月があった。産業界・半導体業界でごく一部で光明が見出せるが、案件の中止・延期が止まらず幅広い業種で低迷・先行き不透明。海外では新型コロナウイルスで冷え込んだ設備投資が徐々に回復してきたがヨーロッパでの感染再拡大もあり先行き不透明。

システムの状況

対象期間の目標達成率67%となったが、年間の累計では赤字となる。今年度を黒字にもつていきたいがコロナの影響が苦しい状況。

会社の主張

会社は組合の要求額(二・五六ヶ月)より下回る額(二・五四ヶ月)だったが精一杯回答した。緊急事態宣言時の深刻な状

況に比べるとやや持ち直した傾向が見受けられるが、新型コロナウイルスの感染の終息は見込めず今後も苦しい状況が長期に続くと思われる。

みなさんに我慢し続ける状況は続きますが何とぞご理解を頂き協力をお願いしたい。

組合の主張

・一時金は、会社が儲かったから出すのではなく、「生活の一部」として要求している。今回は現実的な数値を要求している。0・0六ヶ月のアップは可能はず。

・厳しい状況での回答額を評価しますが、私たちも仕事を心から邁進できるよつ、具体的な上積み額の提示をお願いします。

冬季一時金 2次団交

11月12日(木) 四ノ宮食堂

